

# 医療費適正化事業 正しく知ろう！医療費のこと

問い合わせ 保険介護課 ☎2141

国民医療費は高い状態が続いています。医療費が増えている原因には、例えば、私たちが知らず知らずに行っている医療の受け方や、生活習慣などがあります。その原因を理解し、医療費の節約に取り組みましょう。

## 医療費増加の原因を 考えてみよう



医療費増加の原因はさまざまですが、私たちの医療費に対する認識不足が引き起こしているものもあります。それらを理解し、医療費を節約しましょう。

### 医療機関へのかかり方

必要以上に医療機関に通院したり（多受診）、同じ症状でいくつもの医療機関にかかったりする（重複受診）と医療費が増加します。

### 生活習慣病の増加

日々の悪い生活習慣が大きな要因で起こる生活習慣病が増えています。これらの慢性疾患は治療に長い期間がかかるため、医療費が増加します。

### 生活習慣病の怖さ

疾病分類別に医療費を見てみると、心臓病、脳卒中などの「循環器系の疾患」や、がんなどの「新生物」が

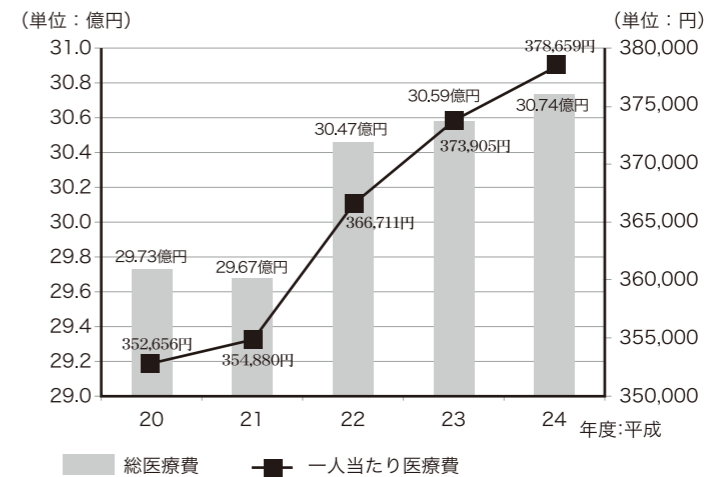


医療費全体の3割近くをしめています。これらは生活習慣病といわれ、日々の生活習慣がもとになって起こる病気です。

### 生活習慣病にならないために 年に1回の健診で健康チェック

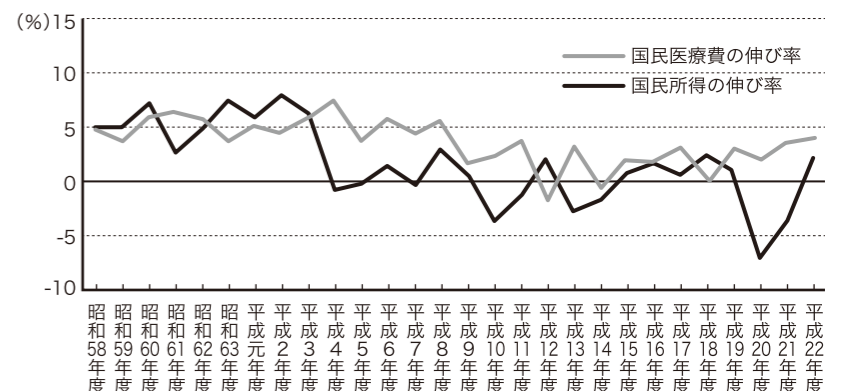
生活習慣病は、いつあなたに忍び寄っているかわかりません。自覚症状がないまま進行することが大半だからです。そこで威力を発揮するのが「健康診断（健診）」です。定期的に健診を受けることで、病気を早期に発見し、初期の段階で病気の芽を摘み取ることができます。大竹市では健診の受診率が低い状態が続いています。年に1回は必ず健診を受けて、健康状態をチェックしましょう。

**市国民健康保険の医療費の推移**  
市国民健康保険の医療費の推移を見ると、平成24年度の一人あたり医療費は378,659円で、生活習慣病に着目した特定健康診査が始まった平成20年以降、総医療費、一人当たりの医療費とも増加傾向にあります。



**国民所得より国民医療費の方が  
増えています**  
経済の低成長下で、近年は国民医療費の伸び率が、国民所得の伸び率を上回る状態が続いています。

国民所得と国民医療費の年次推移



### 医療費の増加が保険料の 引き上げを招きます

私たちが病院の窓口で支払っているのは医療費の一部で、残りは医療保険が負担しています。医療保険の財源は大きく分けると、私たちの「保険料」と国県の「補助金」（私たちの税金）で成り立っています。医療費は近年高い状態が続いています。医療費が増えてしまうと、保険料の引き上げを招いてしまう可能性があります。

### 健診の効果

- 病気の早期発見・治療につながります。早期に治療すれば、治る確率も高まります。
- 仕事や生活からくる負担が、健康にどんな影響を与えているか知ることができます。
- 健康に対する意識が高まり、普段の生活を見直すきっかけとなります。
- 健康状態の変化が継続的にチェックできるので、セルフコントロールの指標となります。
- 若い年齢からの定期的な受診は、健やかな老後の前提となります。

### 市で受診できる健診

市では、40歳以上の方を対象に、市内の各医療機関で、特定健康診査と一般健康診査が受診できます。自己負担額は1,000円（非課税世帯の方は無料）です。詳しくは、社会健康課（☎2153）までお問い合わせください。

### ジェネリック医薬品を 使いましょう

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許が切れて製造された後発医薬品です。開発費用が大幅に削減されているため、先発医薬品よりも安価に購入できます。

### ジェネリック医薬品に 変更するには？

ジェネリック医薬品に変更を希望される方は、医師・薬剤師に「ジェネリック医薬品への切り替えを希望します」とお伝えください。また、「ジェネリック医薬品お願カード」をお持ちの方は、ご提示ください。なお、医師・薬剤師の判断によっては切り替えができない場合があります。薬に対する有効性や安全性について専門家に十分な説明を聞いて、ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう。



### 交通事故などの第三者行為は 届け出を

交通事故などの第三者の行為が原因でケガや病気になった場合、保険会社に連絡をして「第三者行為による被害届」を提出してください。医療費は健康保険でいったん支払い、後で加害者に請求を行います。